

27年度市老連地区会員数

地区名	クラブ数	会員数
豊科地区	10	825
穂高地区	23	1,658
三郷地区	8	887
堀金地区	4	247
明科地区	13	1,004
合計	58	4,621



第7号 2016年(平成28年)3月15日 発行

2012年10月15日 創刊

発行所
安曇野市老人クラブ連合会
安曇野市社会福祉協議会内
〒399-9304 安曇野市豊科4160-1
TEL 0263-72-1871
発行者 若宮昭三
印刷 (株)総合印刷



市老連十周年を迎えて

市老連会長 若宮 昭三

歲月の流れは早く、昭和

三十八年に南安曇郡老人クラブ連合会が創立されて以来、平成十七年に至るまで五十四年間の永い歴史を積み重ねてきました。同年、安曇野は一つと言われる歴史的概念のもとに、五町村合併(穂高・豊科・堀金・三郷・明科)に伴い新たな飛躍を目指す「安曇野市老人クラブ連合会」クラブ数七十八クラブ、会員数七千六百八十五名で発足致しました。

平成十八年、初代会長・斉藤茂昌氏の下に、第二回市老連総会を豊科「ふれあいホール」で開催されて以後、二代会長・山田文明氏と引き継がれて、平成二十六年より三代会長・若宮昭三が受け継ぎ今日に至っています。この間、市老連事業としてはゲートボール大会、花いっぱいコンクール、芸能大会&作品展、マレットゴルフ大会、生きがい教室、楽々太極拳教室、生涯スポーツ交流大会など様々な事業を行ってきました。また市老連総会、県老連大会、プロジェクト研修会、女性指導者研修会な

どへ参加し活動してきました。

しかし、この十年間、全国的に会員数が減少している中、市老連でも会員数の減少している現状が見られます。全国老連でもこの危機を憂い、平成二十六年より五ヶ年計画で百万人の会員増強計画が立てられ、県老連も共に五ヶ年で二万人の増強を推進していますが、目標達成には難しい状況であります。

幸いにも我が老連は、五支部のご努力により平成二十六年度は減少をくい止めて、増員する事ができ、県大会に於いて、連合会として唯一の表彰を受けました事は、五十八クラブの協力のお陰と感謝しております。本

年度も全クラブのご尽力をお願い申し上げます。

尚、昨年は市老連発足十周年記念事業として、後世に残す「十年のあゆみ」の記念誌を発刊できました事を有難く思っております。記念誌発刊には、市

福祉係のご理解と、五支部会長、支部より選出の編集委員合わせて十五名のご努力によって、市老連の誇りとする立派な記念誌として、今後の市老連発展に大きく寄与するものと確信しています。十周年を契機として、五支部が充実したクラブ活動を計り、市老連の発展の為に一体となり、地域社会に貢献される団体となることを心より念願するものであります。それには、全

クラブが地域社会から愛されるクラブづくりを進め、会員増強、退会者防止に力を入れて前進して行くようではありませんか。

ら、健康・友愛・奉仕という考えのもと、発足以来積極的に様々な活動を展開し、仲間づくりや、健康づくりなど社会に貢献されるとともに、市の発展に寄与されてこられました。

市と致しましてもかつてない少子高齢化社会を迎え、高齢者の多様な社会参加を推進するとともに、互いに支え合い、励まし合いながら楽しみを共有し、長寿の喜びを実感できる社会を築いていくことが課題であると考えております。

今後も安曇野市の発展のため皆様のご支援、ご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は市では市制施行十周年の節目の年を迎え「信州・安曇野ハーフマラソン」「全国名水サミット」等様々な行事を開催し、安曇野を全国へPRしてまいりました。

また、新たに制定した「市歌」につきましても、皆様に永きにわたって愛され親しまれ、さらなる市民の一体感の熟成が図られることを期待しております。

結びに、貴団体がこの十周年という節目を契機に大きく飛躍されますことをご期待申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念申し上げます。



「あづみ野の風」
第7号発刊によせて

安曇野市長 宮澤 宗弘

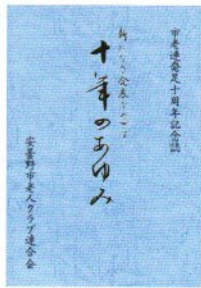
この度は安曇野市老人クラブ連合会発足十周年誠におめでと

うございます。日頃から会員の皆様には、安

曇野市政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

貴団体におかれましては、激変する社会情勢の中にありなが

市老連発足10周年記念誌「十年のあゆみ」発刊!



市老連は平成十八年に五町村（豊科・穂高・三郷・堀金・明科）の合併に伴い、安曇野市老人クラブ連合会として発足して以来、昨年で十周年の節目を迎えました。この記念する年度にあたり、若宮会長の強い思いから市老連の「十年のあゆみ」記念誌発刊委員会が設けられ、五支部より編集委員九名が選出されました。

第一回編集委員会は九月七日に開かれ、市老連に相応しい充実した記念誌にしたいとの総意を得てスタートしました。以後、編集会議を重ねること七回、発刊委員の助言も頂きながら、十二月二十四日に新たな発展をめざす「十年のあゆみ」320部を作り、老連五支部・中学校、図書館、寄稿者等へ贈呈され高い評価を得ました。この評価は発刊・編集委員の皆さんが四ヶ月に及ぶ努力をされた結果だと感謝を申し上げます。

記念誌はA4判・72頁で、内容は市老連の事業（花いっぱい運動、研修会、芸能大会&作品展、マレットゴルフ大会、県大会、序文、トビラ写真等カラーで掲載。また、五支部のクラブより寄せられた活動だよりを載せて目で見ても読む内容に編集しました。市老連では発刊を祝って、十二月二十六日に勇屋会館にて発刊祝賀会を開き喜びを分かち合いました。



記念誌の口絵(上)と序文



記念誌編集に携わった発刊・編集委員一同

十周年記念誌 発刊・編集委員会名簿

- | | |
|---|--|
| <p>編集委員</p> <p>委員長
若宮 昭三</p> <p>副委員長
丸山 宏充</p> <p>委員
竹内 守孝</p> <p>等々力 等</p> <p>藤岡 嘉</p> <p>勝山 孝子</p> | <p>編集委員</p> <p>委員長
吉澤 鋭二</p> <p>藤田常三郎</p> <p>中山 隆</p> <p>山田 高久</p> <p>柴野 道夫</p> <p>藤澤 靖雄</p> <p>尾日向安幸</p> <p>伊澤 初男</p> <p>久保田優子</p> |
|---|--|



安城市老連、安曇野市老連との親善交流会



事業説明する等々力副会長

平成二十七年十月二十六日、午後二時から、社協穂高支所に老連愛知県役員と市老連役員の交流研修会が開かれました。安曇野市からは役員十二名、市長寿福祉係、事務局二名の十五名が参加、安城市からは役員三十名と事務局二名の三十二名の参加でした。まず、お互いの組織概要や活動状況についての紹介があり、安曇野市からは市職員による市の概要や老連への支援の話がありました。安城市は役割分担された発表で、毎年県外で交流会を重ねているだけあって充実した内容でした。その後、安城市の友愛訪問の取り組みについての報告があり、終始和やかな雰囲気の中で、お互い活動状況が交わされ有意義な交流会でした。

愛知県安城市老連と親善交流会を開く!

平成二十七年十月二十六日、午後二時から、社協穂高支所に老連愛知県役員と市老連役員の交流研修会が開かれました。安曇野市からは役員十二名、市長寿福祉係、事務局二名の十五名が参加、安城市からは役員三十名と事務局二名の三十二名の参加でした。まず、お互いの組織概要や活動状況についての紹介があり、安曇野市からは市職員による市の概要や老連への支援の話がありました。安城市は役割分担された発表で、毎年県外で交流会を重ねているだけあって充実した内容でした。その後、安城市の友愛訪問の取り組みについての報告があり、終始和やかな雰囲気の中で、お互い活動状況が交わされ有意義な交流会でした。

74 穂高市報は「秀秀」の欄の「つかり」がまだいい」と感謝する。R、市老連連合会や市内の各機関、中学校と連携関係が深い。入場者70万人に開催を目標に。関係者は「毎日」信濃毎日新聞に報道された記念誌発刊の記事

市老連・花いっぱいコンクール!

汗を流して

花壇づくりにも励む!

市老連が平成十八年に発足して以来、重要な事業の一つとして花壇コンクールが毎年八月に実施されています。本年も各五支部の二十三クラブが高齢者の生きがい事業として、花壇作りを汗を流しながら活動して来ました。こうした努力は地域の人々の心を癒すと共に、景観の場ともなっていて親しまれています。花壇審査員は、これらの実情をふまえ、審査基準によって花の出来具合、花壇の規模、色の配合等により、採点50点満点を基準として慎重に審査し、特別賞・金賞・銀賞・銅賞を決定しました。



特別賞・踏入老人クラブの花壇(豊科)



特別賞・野沢長寿クラブの花壇(三郷)



花壇表彰を授与された皆さん

この結果、特別賞に十年連続の小田多井老人クラブ(堀金)・五回目の踏入老人クラブ長寿会(豊科)・二回目の野沢長寿クラブ(三郷)が受賞しました。受賞式は十一月十四日、穂高会館にて、開催された市老連の芸能大会&作品展の開会式に於いて若宮会長から、それぞれのクラブ代表に表彰を授与されました。今回、最高位を目指して花壇作りに励んだ結果、残念ながら

良い成績が得られなかったクラブもありますが、次回の花壇コンクールには、会員一同が結束して最高賞を授与されるよう期待しております。

丸山宏充

平成二十七年 度

花いっぱいコンクール

特別賞

小田多井老人クラブ(堀金)

野沢長寿クラブ(三郷)

踏入老人クラブ親寿会(豊科)

金賞

重柳老人クラブ(豊科)

等々力楽寿会(穂高)

岩原豊草会(堀金)

西原旭クラブ(穂高)

新屋三ツ矢会(穂高)

富田平和会(穂高)

銀賞

ひといちばニアクラブ(三郷)

熊倉春日会(豊科)

寺所老人クラブひさし会(豊科)

中萱長寿会(三郷)

耳塚老人クラブ(穂高)

青木花見親睦会(穂高)

銅賞

穂高町区愛好会(穂高)

下長尾寿楽会(三郷)

矢原鶴齢会(穂高)

等々力町白寿会(穂高)

上堀老人クラブ(堀金)

明科第一第二第三長寿会(明科)

市老連穂高支部

発足十周年記念式典開催

歴史の節目を

迎えて祝う穂高支部

安曇野市老人クラブ連合会は、去る平成二十七年十二月十二日、ダイヤモンドあずみ野温泉ホテルで、市制十周年に伴う「市老連老人クラブ穂高支部記念式・同祝賀会」を開催しました。宮澤宗弘市長、橋戸勝也教育長、地元市会議員などお招きし、また単位クラブ会長・同女性部長と共に五十三名が出席し、歴史の節目を盛大にお祝いしました。



宮澤市長、若宮会長を囲んで記念写真を撮る会員の皆さん



挨拶する宮澤宗弘市長

開会に当って若宮昭三会長の挨拶で、旧穂高町から現在に至る五十余年の経緯や活動を紹介すると共に「皆さんの経験と知識を地域社会に還元し、健康長寿を楽しみましょう」と呼びかけました。これに対し宮澤市長からは「会員の皆様には、これからも健康に留意され、今後の穂高支部の発展を願っています」とのお言葉を頂きました。

祝賀会では明科在住の二胡奏者周世辛(しゅうせいこう)氏の奏でる悠久の音色に、耳を傾け楽しいひと時を過ごしました。



宴で歓談する来賓者と会員たち